

# 1-3 流域治水対策(砂防)(岩手県八幡平市)

効果概要: 火山地域特有の脆弱な地質により土砂災害のリスクが高いことに加え、降灰後の降雨に起因する土石流発生<sup>はちまんたいさんけい</sup>の危険性が高い八幡平山系二双沢<sup>ふたまたさわ</sup>において、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算等により砂防堰堤を整備し、下流域の人家、高速道路等を保全。

府省庁名: 国土交通省

## ■ 実施主体:

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

## ■ 対策の概要及び事業費:

主な事業	対策内容	事業費	対策期間
通常砂防事業	砂防堰堤工	約11.8億円	H29~R3
うち5か年加速化対策	砂防堰堤工	約3.0億円	R2

人家60戸、東北自動車道等を保全するため、平成29年から砂防堰堤整備に着手し、令和4年1月に砂防堰堤が完成。

## ■ その他:

### 未整備の場合

砂防堰堤の整備が行われなかった場合、下流の人家や重要交通網等が土石流により被災するなどの被害が想定

### 整備効果

土石流が発生した際、整備した砂防堰堤が下流の保全対象を保全

